地域貢献「まち＆ひとづくり」セミナー

愛知地域貢献活動センター

“人口減少時代の建築・まち、そして建築士の役割”

ごあいさつ

地域貢献活動センターは１９年に渡り、県内各方面の建築士会会員がかかわる地域貢献活動団体に助成を行ってきました。

今年は、名古屋大学大学院の 小松　尚 先生を迎えて、建築士が地域のまちづくりにどうかかわるのか、参加者も含めて議論したいと考えます。

支部会員の方々が参加しやすいように、建築士デーの開催日に合わせて企画しましたので、是非各支部からご参加いただきますようお願いします。

愛知建築士会地域貢献活動センター委員会
委員長　牛田信彦

日　時　：　平成２８年１０月１４日（金）１４；００～１６；３０
会　場　：　名古屋市中小企業振興館４階　第７会議室
（建築総合展の会場施設内で総合展の行事として開催されます）

セミナー内容

１．　平成２７年度地域貢献活動センター助成事業の活動報告
　① いくいくみしる実行委員会
　② あいちヘリテージ２期四の会
　③ NPO 法人高蔵寺ニュータウン再生市民会議
　④ 四間道・那古野界隈まちづくり協議会

２．　講　　演
　講　　師　　名古屋大学大学院　環境学研究科
　　准教授　小松　尚　先生
　テ ー マ　　「人口減少時代の建築・まち、そして建築士の役割」
　人口減少というマクロな動きが、少しずつですが私たちの身近なところで感じられるようになってきました。
　空き家や空き地の増加や、公共施設の集約的再編、集約型都市構造の実現といった行政方針はその代表例です。
　開発・成長から再編・集約へと考え方が変わっていく中で、これまで建築を創ることで社会に貢献してきた建築士の役割も変わっていきそうです。
　人口減少時代の建築やまちとともに、建築士のこれからの役割を考えてみます。

３．　講師と建築士が関わるまちづくりについて討論

『雨水利用・排水再利用設備計画基準・同解説　平成28年版』講習会のご案内

趣　旨

国土交通省では、水需要のひっ迫した地域における水資源の合理的な利用を推進し、併せて地球環境保全の観点から、官庁施設における雨水利用及び排水再利用の推進がなされています。

平成16年に、国土交通省官庁営繕部において排水再利用・雨水利用システム計画基準が技術基準として制定されたことを受けて、公共建築協会ではこの計画基準についてわかりやすく解説を加えた『排水再利用・雨水利用システム計画基準・同解説　平成16年版』として編集・発行いたしました。

今般、雨水の利用の推進に関する法律（平成26年法律第17号）が制定され、同法律に基づく雨水の利用の推進に関する基本方針（平成27年国土交通省告示第311号）が策定されるとともに、平成27年3月10日、「国及び独立行政法人等が建築物を整備する場合における自らの雨水の利用のための施設の設置に関する目標について」閣議決定がなされたところです。

これらを踏まえて、国土交通省では、平成28年3月に、雨水利用・排水再利用設備計画基準として改定がなされました。

この改定された技術基準は官庁施設を対象としたものですが、地方公共団体を始め一般的な施設においても活用できるものであると考えられることから、当協会では『雨水利用・排水再利用設備計画基準・同解説　平成28年版』として編集・発行するとともに、理解を深めていただくことにより良質な建築物の整備に資するべく、講習会を開催することといたしました。

関係各位の皆様方、多数ご参加下さいますようご案内申し上げます。

主　　催　　一般社団法人　公共建築協会

後援（予定）　　国土交通省

協賛（予定）　　(一社)日本空調衛生工事業協会、(一財)地域開発研究所
(一社)日本設備設計事務所協会、(一社)建築設備技術者協会
全国管工事業協同組合連合会
(一社)日本建設業連合会、(一社)全国建設業協会
(一社)日本建設業経営協会、(一社)　全国中小建設業協会
(公社)日本建築士会連合会、(一社)日本建築士事務所協会連合会
(公社)日本建築家協会
上記各団体の愛知県・岐阜県・三重県・静岡県にある支部等

日　時　　平成２８年１０月４日（火）１３：３０～１６：３０　受付１３：００～

会　場　　愛知県産業労働センター(ウィンクあいち)　１１階　１１０２室　　定員　108名
名古屋市中村区名駅4-4-38　TEL.052-571-6131

講　師　　一般社団法人 公共建築協会

本講習会は、「建築CPD運営会議営繕業務関係特別認定講習会」としての認定を申請予定です。なお、講習会当日受講者の確認を行いますので、本人の確認ができる写真付きの証明書（運転免許証、一級建築士免許証、社員証等）をご持参ください。

参加費(消費税込)

区　分	テキスト共	受講のみ
国、地方公共団体、政府関係機関の職員、協賛団体の会員等	１３，０００円	７，０００円
その他	１６，０００円	１０，０００円

テキスト

国土交通省大臣官房官庁営繕部設備・環境課監修（予定）

『雨水利用・排水再利用設備計画基準・同解説　平成28年版』　本体6,000円＋税（予定）

※ 上記テキストをお持ちの方は、当日持参下さい。

講習会プログラム

時　間	講習内容
13：30～13：40	挨 拶
13：40～15：00	第１編　総則 第２編　雨水利用設備 第４編　雨水利用設備と排水再利用設備の併用 （雨水利用設備関連部分） 第６編　参考
15：00～15：10	休　憩
15：10～16：30	第３編　排水再利用設備 第４編　雨水利用設備と排水再利用設備の併用 （排水再利用設備関連部分） 第５編　非常時対策

申込方法　・講習会申込書（裏面）に必要事項をご記入のうえ、FAXにてお申込み下さい。
・９月２７日（火）までにお申し込みのうえ参加費を下記口座にお振込下さい。
・参加費は原則として前納でお願いいたします（振込料は参加者負担）。
・やむをえない場合は、当日支払、後納でも受付けます。

振込先

三菱東京ＵＦＪ銀行　栄町支店　普通預金　No、１１３３９５０

口　座　名　：　一般社団法人公共建築協会 中部地区事務局

受講票の発行　参加者あてに受講票をFAXでお送りします。当日必ずご持参下さい。

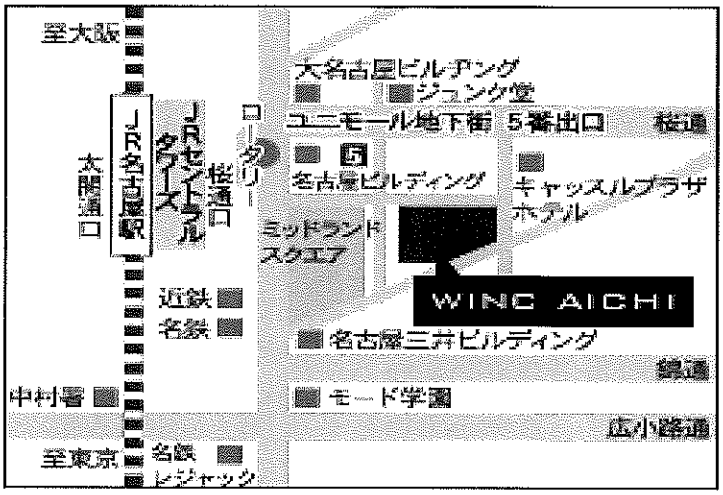
そ の 他　（１）参加費は、不参加の場合でも払戻しは致しませんのでご了承下さい。
但しテキストは送付します。
（２）当日参加者の変更は差し支えありません。

案内図

愛知県産業労働センター
（ウィンクあいち）
１１階　１１０２室
名古屋市中村区名駅 4-4-38
TEL（052）５７１－６１３１

◆JR 名古屋駅桜通口から、ミッドランドスクエア方面　徒歩５分
◆ユニモール地下街　５番出口　徒歩２分

※駐車場はございませんので
公共交通機関をご利用下さい。



【問合せ先】一般社団法人公共建築協会　中部地区事務局
〒460-0008　名古屋市中区栄 4-2-10 小浅ビル 9F
TEL052-243-0789

必要事項を記入の上、FAX で申込ください。
中部地区事務局 FAX.052-241-6152

『雨水利用・排水再利用設備計画基準・同解説　平成 28 年版』講習会申込書

会　社・団体名等		電話番号	
ご担当者所属部署		FAX 番号	
ご担当者氏名			
住　　所	〒　　－		
貴法人所属　協賛・後援団体等名称			
備考			

参加者氏名	区分	払込方法	申込区分	金額
	□国、地方公共団体、政府関係機関の職員、協賛団体の会員等 □その他	□前納 □後納 □当日払	□テキスト共 □受講のみ	円
	□国、地方公共団体、政府関係機関の職員、協賛団体の会員等 □その他	□前納 □後納 □当日払	□テキスト共 □受講のみ	円
	□国、地方公共団体、政府関係機関の職員、協賛団体の会員等 □その他	□前納 □後納 □当日払	□テキスト共 □受講のみ	円
	□国、地方公共団体、政府関係機関の職員、協賛団体の会員等 □その他	□前納 □後納 □当日払	□テキスト共 □受講のみ	円
	□国、地方公共団体、政府関係機関の職員、協賛団体の会員等 □その他	□前納 □後納 □当日払	□テキスト共 □受講のみ	円

注 ※見積書・納品書・請求書等が必要な方は備考欄にご指示ください。
※申込み多数の際は、上記申込書をコピーしてご使用ください。
※この申込書に記載された個人情報は講習実施に関する必要な書類等の作成、送付及び本講習に関する情報の送付に使用します。それ以外の目的には使用いたしません。

資料－19

会長	専務理事	事務局長	課長	主任	担当

平成２８年８月２３日

関係機関の長　殿

岐阜工業高等専門学校長
伊　藤　義　人
【公印省略】

教員の公募について（依頼）

拝啓　時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。
さて，このたび本校建築学科では，下記の要領で教員を公募することになりました。
つきましては，関係各位へご周知いただくとともに，適任者の推薦をいただきたく，よろしくお願い申し上げます。
敬具

記

１．職名・人員　助教１名
２．所　　属　建築学科
３．専門分野　建築構造
４．担当科目　建築工学実験，建設工学実験（構造），その他建築構造に関わる科目
５．採用予定日　平成２９年４月１日
６．応募資格　（１）博士の学位を有する方，もしくは着任後5年の間に取得可能な方
（２）心身ともに健康で，高等専門学校の教育・学生指導および研究に熱意のある方
（３）研究分野の主体が建築構造である方
（４）研究業績に実験的研究を有することが望ましい
７．提出書類　（１）履歴書（市販の用紙に本人自筆，写真貼付，E-mailアドレスを記載のこと）
（２）著書・論文等一覧（学会等の口頭発表を含む。企業からの応募者は各部門における実績の記録および特許・資格等）（所定様式３）
（３）主要論文・著書等の別刷り（３編以内でコピー可）
（４）着任後の教育及び研究に関する抱負（2000字程度）（所定様式４）
ただし、学生指導に関する抱負も含む
（５）教育指導歴（非常勤講師などの教育指導歴がある場合，担当した講義のシラバス等）
（６）指導教員または所属長の推薦書
推薦者の方には，応募に関する参考意見を伺うことがあるので，推薦者の連絡先を添えて下さい。
８．応募締切日　平成２８年１１月３０日（水）必着
９．選考方法　第１次選考　書類審査
第２次選考　第１次選考合格者を対象に面接による審査
（面接にともなう旅費，宿泊費等は応募者の負担とします。）
10．書類提出先　〒501-0495　岐阜県本巣市上真桑２２３６番２
岐阜工業高等専門学校　総務課　人事係
※封筒に「建築学科教員応募書類」と朱書し，簡易書留で郵送のこと。
なお，応募書類は原則として返却しません。返却を希望される場合は，住所・氏名を記載した宅配便の伝票（着払用）を同封してください。
応募書類の個人情報については，選考以外の目的には使用いたしません。
11．問い合せ先　（１）教育および研究に関すること
岐阜工業高等専門学校　建築学科長　犬飼　利嗣
Tel:058-320-1419，Fax:058-320-1429，E-mail:inukai@gifu-nct.ac.jp
（２）その他事務的なこと
岐阜工業高等専門学校　総務課　人事係長
Tel:058-320-1215，Fax:058-320-1220，E-mail:jinl@gifu-nct.ac.jp
12．その他　※本校では男女共同参画に配慮しており，教育・研究業績や面接審査等において，同等と認められた場合には，女性を積極的に採用します。
※カリキュラム等の詳細については，本校のHP（以下のURLを参照）をご覧下さい。
http://www.gifu-nct.ac.jp/

受付
28.8.25
公益社団法人
日本建築士会